



月刊 織本

GEKKAN ORIMOTO

6

2016年6月1日 Vol.262

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



ギンラン (銀蘭)

病態の三角形 (2)

理事長・院長 高木 由利



東京も日中は 28℃を超える夏日があり、陽射しも強くなってきました。八百屋さんの店先には元気の良いスイカが並んでいます。

* * *

5月11日、東京都医師会長から「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が送られてきました。これは、日本医師会、日本糖尿病対策推進会議、厚生労働省の三者が策定したプログラムです。糖尿病が重症化する可能性が高いにも関わらず、医療機関への未受診者及び受診中断者に対し、関係機関から受診を強く勧め、更に保健指導し治療に結び付けようという通達でした。

6月から特定健診が始まり、当院でもこのプログラムを念頭に置き市民への指導をしていくのですが、どんなに治療開始してほしいと力説しても自分だけは大丈夫という“素人判断”を壊すにはどうしたら良いか頭を悩ませています。

先日も熱が出たという丸々太った50歳代の男性が、ヘモグロビンA1cが8.5(正常6.2以下)あるのに自分は他院で医者にかかっているから平気だと言われる根拠は一体何なのかと考え込んでしまいました。熱の原因がノロウイルスやインフルエンザではなかったの

で抗生剤の点滴をしたのですが、「もっと体重を下げ、それからあなたにしてほしいことは…」と言いながら、ふとその方の後ろを見ると、丸々太った奥様がポーっと興味もなさそうに立っているのです。2人合わせたら150kg以上はあるだろうと思いました。

* * *

このプログラムには、糖尿病が正しく治療されていないと、糖尿病性網膜症、神経症、腎症のみならず心血管イベント、つまり心不全、狭心症、心筋梗塞、脳出血、脳梗塞と発展することを考え、十分な医療連携を取り専門的な指導ができるところへ紹介し、更に保健指導も行い1人ひとりに深く関与すべきであるとされています。この通達に対し、私達医療従事者は具体的な計画を立てて、しっかり患者教育をしていかなければいけません。

私は5月号の月刊織本に“病態の三角形”について書きましたが、正にこのことがプログラムには記されていたのです。当院の目指している方向は社会が望んでいるものと一致していることは確認できましたが、日常診療をする中で一番の問題点は、先程も申しましたように患者さん自身がご自分の病気に無関心だとい

うことです。この恐ろしい誤った“信仰”を打ち砕くために私達は相当の時間を費やす必要があります。

今当院では、糖尿病勉強会、カンファレンス、腎疾患セミナー、糖尿病及び腎不全の教育入院、そして栄養士達がより正確で且つおいしい腎不全食を会得するための集団調理実習も始めています。“病態の三角形”が益々活発に職員全員参加型の医療として確立するために、織本病院は動き始めていることをご理解頂ければ幸いです。



腎不全食の集団調理実習風景

第59回 日本糖尿病学会年次学術集会

糖尿病・内分泌内科 小内 裕



2016年5月19日～21日に「第59回日本糖尿病学会年次学術集会」が京都で開催されました。私は以前働いていた病院のデータを元に、「低血糖を主訴に救急外来を受診した患者についての検討」について口演発表を行いました。厳しい血糖管理によって低血糖や死亡数が増加すると言われていました。低血糖はしばしば認められる急性合併症です。低血糖の現状を知り、その予防や対策を考える必要があります。今回、その基礎的調査を行ったのですが、インスリン分泌を促す薬剤（SU剤）・高齢者・腎機能低下症例で低血糖になりやすい傾向がありました。活発な討論の場が設けら

れ、有意義な時間を過ごすことができました。

更に今回の学会の目玉は、「高齢者糖尿病の血糖管理の目標」が発表されたことでした。糖尿病の治療はオーダーメイド治療です。それぞれ個々に合わせた治療を行なうべきなのですが、今まで定まった指針がありませんでした。高齢化社会を迎える昨今、高齢者に適した血糖管理を目指すため、以下のような宣言がされました。

- ① 血糖コントロール目標は患者の特徴や健康状態：年齢、認知機能、身体機能（基本的ADLや手段的ADL）、併発疾患、重症低血糖のリスク、余命などを考慮して個別に設定すること。
- ② 重症低血糖が危惧される場合は、目標下限値を設定し、より安全な治療を行うこと。
- ③ 高齢者ではこれらの目標値や目標下限値を参考にしながらも、患者中心の個別性を重視した治療を行う観点から、目標値を下回る設定や上回る設定を柔軟に行うことを可能としたこと。

これは私の発表した高齢者と低血糖の関係と重複するところがあります。今後も低血糖を回避するような治療を心がけ、日々切磋琢磨していきたいと強く感じました。



お薬手帳を

もっと活用しましょう



薬剤師
境 茂雄

今年の四月より「いつもと同じ薬なのに、

薬の値段が変わった？」と思われる方も多いのではないのでしょうか？実は、医療サービスに対する金額は二年に一度のペースで見直されています。お薬の値段もこの時に見直され、ほとんどのお薬が安くなります。それ以外でもお薬に関わるところで、大きく変わった点があります。その一つが、お薬手帳です。

お薬手帳とは、いつ、どこで、どんな薬をもらったかを記録しておく手帳のことで、薬局にて無料でもらえます。医師や薬剤師にこの手帳を見せて服薬状況を確認してもらったことで、薬の飲み合わせなどをチェックすることができるようになります。三月までは、お薬手帳を持ってきた人は管理料として四一〇円、お薬手帳を持っていない人は管理料として三四〇円支払っていました。お薬手帳をきちんと持ってきていた人のほうが支払う金額が高くなっ

てしまっていました。こういう理由から、手帳を持たない人もいました。

4月からは、お薬手帳を持ってきた人は管理料が三八〇円と減額になり、お薬手帳を持ってこなかった人は管理料が五〇〇円に増額になりました。きちんと持ってきている人は管理料を下げましょうというのが今回の変更点です。

ここで注意点！「お薬手帳を持っていれば必ず安くなる」というわけでもないです。**一、六ヶ月間、調剤薬局でお薬をもらわなかった場合は、お薬手帳を持って行ったとしても管理料は五〇〇円になる。**

二、毎回違う調剤薬局でお薬をもらった場合は、管理料は毎回五〇〇円になる。という「からくり」があります！例えば、A病院で処方された薬をa薬局でもらったとします。この時の管理料は五〇〇円です。後日、B病院に受診し処方された薬をa薬

局でもらえば管理料は三八〇円ですが、別のb薬局でもらってしまうと、管理料は五〇〇円になってしまいますという訳です。

一回一回では一二〇円と大きな差はないかもしれませんが。しかし毎回一二〇円の差がでてくると、それが積もって大きな金額になってしまいます。常に同じ『かかりつけ薬局』を決め、そこでお薬をもらうようにすれば経済的なメリットがあります。かかりつけ薬局は自分の生活スタイル（自分の家から近い、買い物ついでに行ける等々）に合ったところがかまいませんので、設定してみたいかがででしょうか？

最後に、「いちいち、お薬手帳なんて持ち歩けない」「つい持っていくのを忘れてしまう」という方に朗報です。四月から、スマートフォンアプリにお薬手帳サービスが登場しました。いろいろ便利な機能もあるので、興味がある方は活用してみたいかがででしょうか？

尚、ここで記載した管理料は保険適応前の金額です。なので、この金額から一割～三割が自己負担額となります。



7月12日は人間ドックの日



まめ知識

人間ドックの“ドック”は、船渠（せんきょ 船を修理・点検するための設備）を意味する英語“dock”に由来しています。人間ドックとは、船が時々ドックに入ってオーバーホールするように、人間も自覚症状の有無に関係なく時々病院で徹底的に検査を受けて自分の体をチェックしましょうという発想のもとに名付けられたそうです。1954年7月12日、国立東京第一病院（現・国立国際医療センター）で初めて人間ドックが行われたことを記念し、7月12日が人間ドックの日となりました。皆さんもご自分の体のメンテナンスをお忘れなく！！

検査項目	内容：対象病変	人間ドックコース			
		ショート ¥25,920	1日 ¥44,280	1泊2日 ¥72,360	脳ドック ¥41,040
身体測定	問診（医師） 身長 体重 腹囲 血圧	●	●	●	●
基礎代謝測定	体脂肪率 基礎代謝量 筋肉量 など	●	●	●	●
視力・聴力	視力測定 聴力異常の有無	●	●	●	
尿検査	蛋白 糖 潜血 <small>ウビリノーゲン</small> pH <small>ビリルビン</small> 比重	●	●	●	
便検査	便潜血の有無（2回法）	●	●		
血液検査	白血球 赤血球 血小板 血色素量 ヘマトクリット 肝機能 糖 膵 脂質 電解質 尿酸 腎機能 炎症反応 感染症	●	●	●	●
心電図	不整脈 心臓の機能、病変の有無	●	●	●	●
胸部X線	肺の病変の有無、心臓の大きさ	●	●	●	
腹部X線	腹水、腸内の病変の有無	●	●	●	
胃透視	バリウム（造影剤）を使用した消化器検査	●	●		
腹部超音波	各臓器（肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓）の疾患	●	●	●	
頸動脈超音波	首の血管の動脈硬化、狭窄症など頸動脈の疾患		●	●	
心臓超音波	心臓内の血液逆流、心弁膜症など心臓の疾患		●	●	
PWV（脈波）	動脈硬化の程度				●
骨粗鬆症	骨塩定量検査		●	●	
肺機能	肺活量、換気量などを計測 閉塞性肺疾患の有無			●	
MRI（脳）	脳内の腫瘍、梗塞、動脈瘤、頸動脈の病変有無			●	●
MRA（脳/頸動脈）				●	●
上部内視鏡	食道・胃・十二指腸 ※ショート、1日コースの胃透視を上部内視鏡に変更可（追加料金 ¥5,400）			●	
下部内視鏡	大腸			●	
お食事	※ ショートコースのみオプション制（追加料金 ¥1,080）		●	●	
医師総合面談	※ ショートコースのみオプション制（追加料金 ¥2,160）		●	●	●

※オプション検査も多数ご用意しております。人間ドックのご予約・お問合せは **042-493-2361** へ

第178回 腎疾患ゼミナール

腎不全の理解を深めましょう ⑭

白血球について 腎臓内科：高木 由利

検査科からのワンポイントアドバイス

腎不全の頸動脈 2016年6月16日（木）
午後1：00～2：00
オリモトホール（織本病院 4F）
参加費無料

臨床検査技師
稲富 貴己



糖尿病教室のご案内

糖尿病と検査

臨床検査技師：滝川 佑介

2016年6月11日（土）
午後1：00～1：30
オリモトホール（織本病院 4F）
参加費無料

※ 予約不要でどなたでもご参加頂けます。

